

関連計画
について

（資料１－１、１－２）関連する計画における都市公園と緑の整備の視点

→ 各種計画を踏まえて地区公園再整備基本構想の策定を進めるため、各種計画の目指すところの整理

ネットワーク
について

（資料２）安城市の移動動線（ネットワーク）の現状及び今後の方向性

→ 現状の移動動線の整理

周辺公園等の
情報整理

（資料３－１、３－２、３－３、３－４）安城市及び周辺市の公園及び類似施設の分布状況、公園来訪者の居住地、年齢層について

→ 安城市と周辺市の公園の状況を確認し、安城市の公園のポテンシャルを確認する

地区公園の目
指す姿

（資料４－１、４－２）地区公園再整備の目指す姿

→ 委員会・WS・アンケートで出た意見からキーワードを抽出し、各公園の特徴から将来ビジョンを描く

まとめ

（資料５）まとめ

→ 資料１～４を整理し、まとめる

各公園の
目指す姿の詳細

（資料６～１０）各公園の目指す姿

→ 各公園の目指す姿の詳細イメージについてまとめる

（※現時点での情報を集約したイメージであるため、第3回ワークショップを通して変わる可能性があります。）

全体ビジョン
の検討

（資料１１）地区公園再整備基本構想の全体ビジョンについて

第9次安城市総合計画

目指す都市像

ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 安城

本市は、安心して子どもを育てることのできる仕組みをつくり、市民の豊かな暮らしと地域の未来を支える確かな力を蓄え、安全・安心で誰もが住みたくなる魅力あふれるまちづくりを進めることにより「ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 安城」の実現を目指します。

3つの重点戦略



●重点戦略1

妊娠から出産、その後の子どもの成長過程における切れ目のない支援や、子どもが心豊かに、健やかに成長できる教育環境の充実を図り、地域でのつながり、支え合いにより子どもを育む優しい「しくみ」をつくります。



●重点戦略2

本市のこれまでの発展を支えてきた産業のさらなる成長と市民活力の向上を図ることにより、子どもを育む確かな「ちから」を蓄えます。



●重点戦略3

暮らしの安全を確保し、魅力的なまちづくりを進めるとともに、これまで引き継がれてきた豊かな環境を守ることにより、子どもを育む安らぎの「ばしょ」を築きます。



誰もが住みたくなる魅力的なまちづくり



- ① 主要駅周辺において、利便性の向上と交流空間の創出に向けた都市基盤の再整備について検討を進めます。また、公共的空間*1の積極的な活用を促進します。
- ② 人口の流出抑制と流入の受け皿を確保するため、土地区画整理事業などにより安全で快適な住環境を提供します。
- ③ 地域の交通環境向上のため、あんくるバスなどの公共交通サービスや道路ネットワークの充実を図ります。
- ④ 暮らしの質の向上を図るため、誰もが使いやすい公園の整備を進めます。

第9次安城市総合計画の目指すところ

「こども」を核としたまちづくり

安城市緑の基本計画



安城市緑の基本計画の目指すところ
豊かで多彩な緑を次世代に引き継ぎ
新たな緑をつくり育てていく

基本方針

緑の将来像である「健康で豊かな緑をばぐむまち 安城」を実現するため、以下の4つの基本方針を設定しました。

基本方針Ⅰ 後世に引き継ぐ ～緑をまもる～

東海道のマツ並木などの本市の歴史風土を感じる緑や、日本デンマークと呼ばれてきた農地の緑や明治用水、多くの人に親しまれてきた桜の風景など、先人たちが育んできた緑を後世に引き継いでいきます。

基本方針Ⅱ 健康都市を推進する ～緑をつくる～

健康都市の形成に向け、市民の健康づくりや環境学習の場、日常生活の憩いの場の確保など、多様化するニーズに対応するために必要な緑の創出や更新を進めていきます。

基本方針Ⅲ 暮らしの質を高める ～緑をふやす～

都市整備と緑の調和や、地球温暖化の緩和や災害からの安全性の確保など、生活の豊かさや災害からの安心感を感じられる生活環境をつくっていくための緑を増やしていきます。

基本方針Ⅳ みんなで育てる ～緑をばぐむ～

これまで行われてきた、市民や地元事業者など様々な主体による緑に関わる活動を今後も継続するとともに、さらに拡大することで、多くの人へ健康の理念を広げていきます。

緑の将来像	基本方針	施策	取組み
健康で豊かな緑をばぐむまち 安城	基本方針Ⅰ 後世に引き継ぐ ～緑をまもる～	歴史ある緑の空間を守り、活かす	I-1 次世代に伝えるべき緑地等の保全 I-2 桜の名所における桜の再生 I-3 生物多様性の保全
	基本方針Ⅱ 健康都市を推進する ～緑をつくる～	魅力ある公園・緑地をつくる	II-2 身近な地域における公園整備 II-3 地域の特徴・ニーズを踏まえた公園のリニューアル整備 II-4 公園施設の長寿命化 II-5 気候に運動に取り組めるポケットパーク等の整備 II-6 公園の利活用に向けた民間のノウハウや活力の導入可能性の検討
	基本方針Ⅲ 暮らしの質を高める ～緑をふやす～	水と緑でつながるネットワークをつくる	II-7 身近な地域でのウォーキング・ランニングコースの活用 II-8 拠点を結ぶ水と緑のネットワークの形成 II-9 連続的な歩行者・自転車ネットワークの形成 II-10 河川敷を活用した自然と親しめる空間づくりの推進
	基本方針Ⅳ みんなで育てる ～緑をばぐむ～	⑥公共施設の緑化を推進する	III-1 市役所など公共施設の緑化の推進 III-2 都市公園における緑の質の向上 III-3 街路樹などによる緑の質の向上
		⑦市民協働による維持管理を推進する	IV-1 緑に関する教育の推進 IV-2 市民協働による公園・緑地の管理運営の推進

第三次安城市都市計画マスタープラン

都市施設（公園・緑地）の形成方針

- 安城市緑の基本計画に基づき、身近な公園が不足する地域を中心に都市公園の整備、子どもの遊び場や地域住民の交流の場の確保を進めます。
- 自転車ネットワークや河川を利用した水と緑のネットワークの形成を図ります。
- 公園施設の長寿命化、地域特性やニーズに応じた公園のリニューアル、市民との協創の取組による公園施設の維持管理を進めます。

市民とともにつくり・つかう協創の方針

- 市民や関係団体等を始め、多様な主体が各々の役割を果たし、情報共有しつつ、本計画に沿ったまちづくりの実現を進めます。
- 地域のまちづくり目標の策定、その目標に基づいた地域の身近なまちづくりや公共空間の有効活用・維持管理（土地利用や景観のルールづくり、道路や公園等の維持管理、緑化や美化活動等）に対して自発的・積極的に取り組んでいけるようなしくみ・支援策の充実を検討します。



第三次都安城市都市計画
マスタープランの目指すところ

市民とともに
つくり・つかう
協創のまちづくり

第2次安城市環境基本計画

環境負荷の少ない、人と自然が共生しているまち

理想とするまちは、下記の4つの柱とそれらを支える土台により成り立っています。

柱1 生活環境保全

大気・水などが、良好な状態にあること

柱2 自然・都市共生

農地・水辺地などの自然環境が保たれる、適正な土地利用を行っていること

柱3 資源循環

ごみの減量、再利用、処理を適正に行っていること

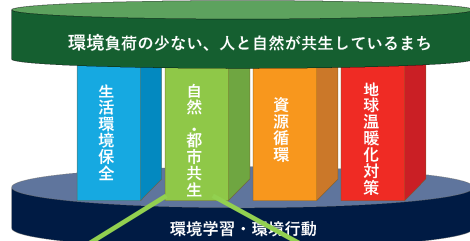
柱4 地球温暖化対策

二酸化炭素などの温室効果ガス排出量が少ない社会構造であること

土台 環境学習・環境行動

市民・事業者・行政が、主体的に単独または協働で行動していること

あらゆる主体が、環境に対しての高い意識を持ち、連携と協働により行動しなければ、各柱は成り立たず、また、どの柱が欠けても理想とするまちは成り立ちません。



自然・都市共生

理想とするまちでは、良好な農地・水辺地と、緑あふれる都市部があり、まち全体で恵み豊かな自然を感じることができます。

そのために、市域全体で農地を適切に保ちながら、バランスよく都市開発を行います。

また、都市化する中においても、緑地や水辺地を確保し、自然の恵みを感じられるようにします。



第2次安城市環境基本計画の目指すところ

環境負荷の少ない、
人と自然が共生しているまち

安城市ゼロカーボンシティ推進戦略

戦略体系図



【3】脱炭素な移動の推進

私達の暮らしは、自動車普及に伴って便利になった反面、化石燃料を使用して二酸化炭素を発生させるだけでなく、渋滞や騒音等の社会問題や運動不足等の問題も生じてきています。安全で快適なまちであるために、移動も脱炭素化を推進します。

- 【施策】
- 自動車由来排出量の削減
 - 多様な移動手段の促進

削減見込量（千t-CO2） 運輸：136.7

【5】みどりの活用推進

農地は作物を生産する場であるとともに、生き物のすみかであったり、四季の変化で目を楽ませてくれたり、あるいは豪雨時の水害を緩和する等、多面的な機能をもっています。農業が盛んであるという本市の特徴を活かしながら、温暖化対策やスマート農業を進めています。

- 【施策】
- 農地・緑地の整備・活用
 - 農業分野の脱炭素化推進

削減見込量（千t-CO2） 産業：0.8

安城市ゼロカーボンシティ推進戦略の目指すところ

安全・安心で誰もが住みたくなる
魅力あふれるまち
(ゼロカーボンシティ)

安城市こども計画

みんなでこどもたちを育み、応援するまち

“こどもまんなか 安城”

本計画において「目指す姿」を実現するため、以下の基本目標を掲げ、施策を推進します。

- 基本目標1 こどもまんなか社会に向けた気運醸成
基本目標2 こども・若者等の心身の健康づくり
基本目標3 こども・若者が安全に暮らせる環境づくり
基本目標4 こども・若者が希望を持てる社会づくり
基本目標5 子育て・教育にかかる支援
基本目標6 困難を抱えるこども・若者等への支援

基本目標3 こども・若者が安全に暮らせる環境づくり

施策1 こども・若者の遊び場や居場所づくり

具体的取組

15 こども・若者にとって、より良い居場所づくり「みがく」

「居たい」「行きたい」「やってみたい」の3つの視点での居場所づくりは、こどもの居場所になることにつながります。それぞれのこども・若者の特性やニーズに応じた居場所づくりが求められており、居場所づくりにこども・若者等が参画することが重要です。

●こどもに関わる人等の意見を取り入れ、児童遊園を維持管理します。(①)

●第9次総合計画の重点戦略「子どもを育む安らぎのばしょを築く」に基づき、こども・若者等が使いやすい公園整備を推進します。(②)

●特に支援の必要性が高いこども・若者については、それぞれの居場所と、こども家庭センター等との連携により、より良い居場所づくりを進めます。(③)

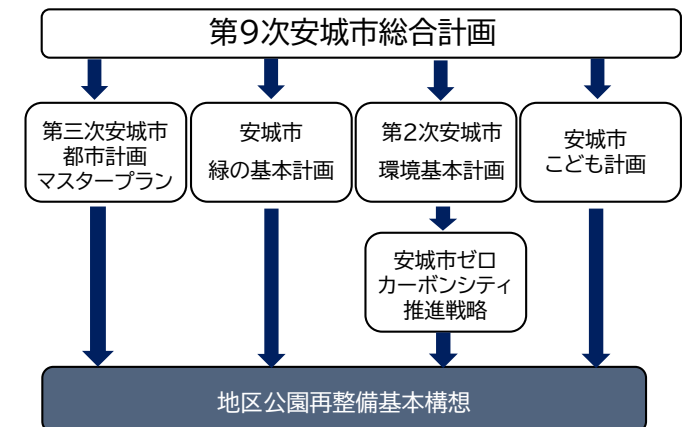
関連事業等

- ①児童遊園の維持管理 【こども課】
②地区公園・街区公園の整備 【公園緑地課】
③こども家庭センターの運営 【こども課・健康推進課】

安城市こども計画の目指すところ

全てのこども・若者が、権利の擁護が図られ、
将来にわたって幸せな状態で生活を送ることが
できる「こどもまんなか」なまち

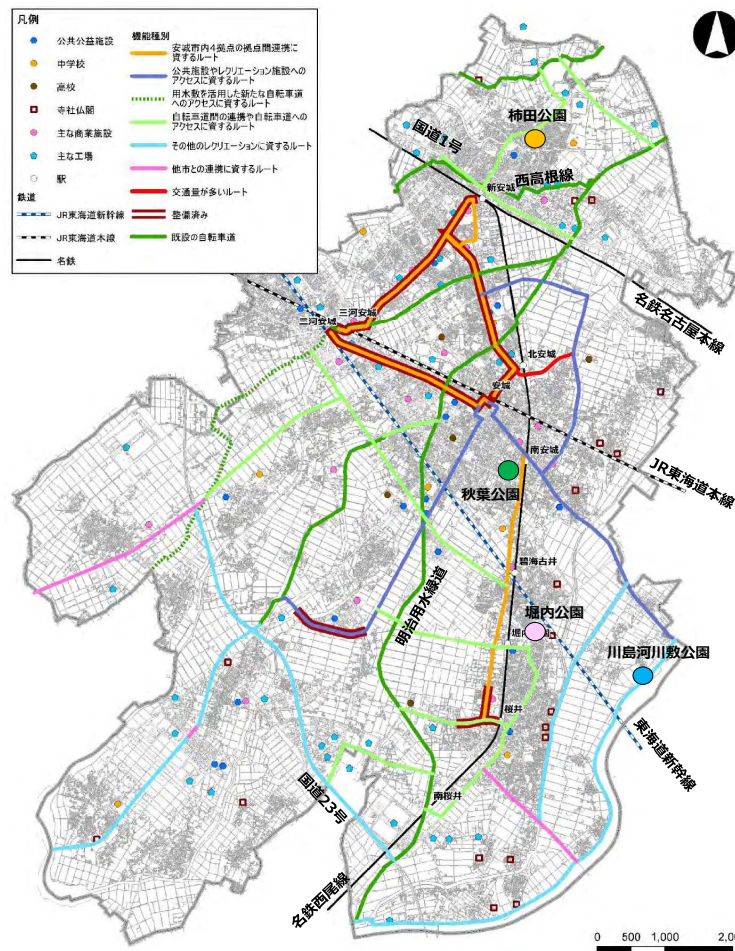
地区公園再整備に関する施策上の位置づけ



2 安城市の移動動線(ネットワーク)の現状及び目指すところ

1. 移動動線(ネットワーク)の現状

- ・ 名鉄名古屋本線、JR東海道本線、東海道新幹線、国道1号、国道23号が通っており、東西方向が安城市の主動線になっている（※江戸から京に至る東海道（現在の国道1号の北側）が所在しており、昔から人が行き交う環境があった）
- ・ 一方、南北方向は名鉄西尾線、明治用水緑道（自転車専用道）が通っており、通勤・通学に利用されている
- ・ 明治用水緑道と公園の連続性について、堀内公園や川島河川敷公園までの区間は、自転車ネットワークの整備路線に位置付けられているが、現在は未整備である
- ・ また、秋葉公園は、明治用水緑道と連続させる計画はない
- ・ 柿田公園は、明治用水緑道西高根線と接続した自転車歩行者道が整備済みである
- ・ 4つの地区公園について、移動動線の視点で見る連携はない
- ・ 地区公園にサイクルポートはなく、公園と自転車移動とのつながりが薄い

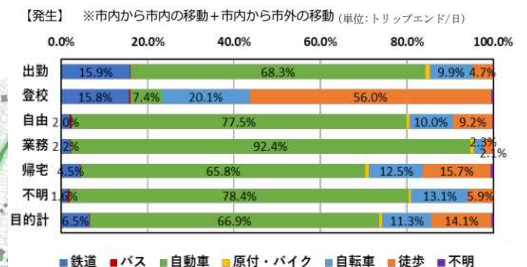
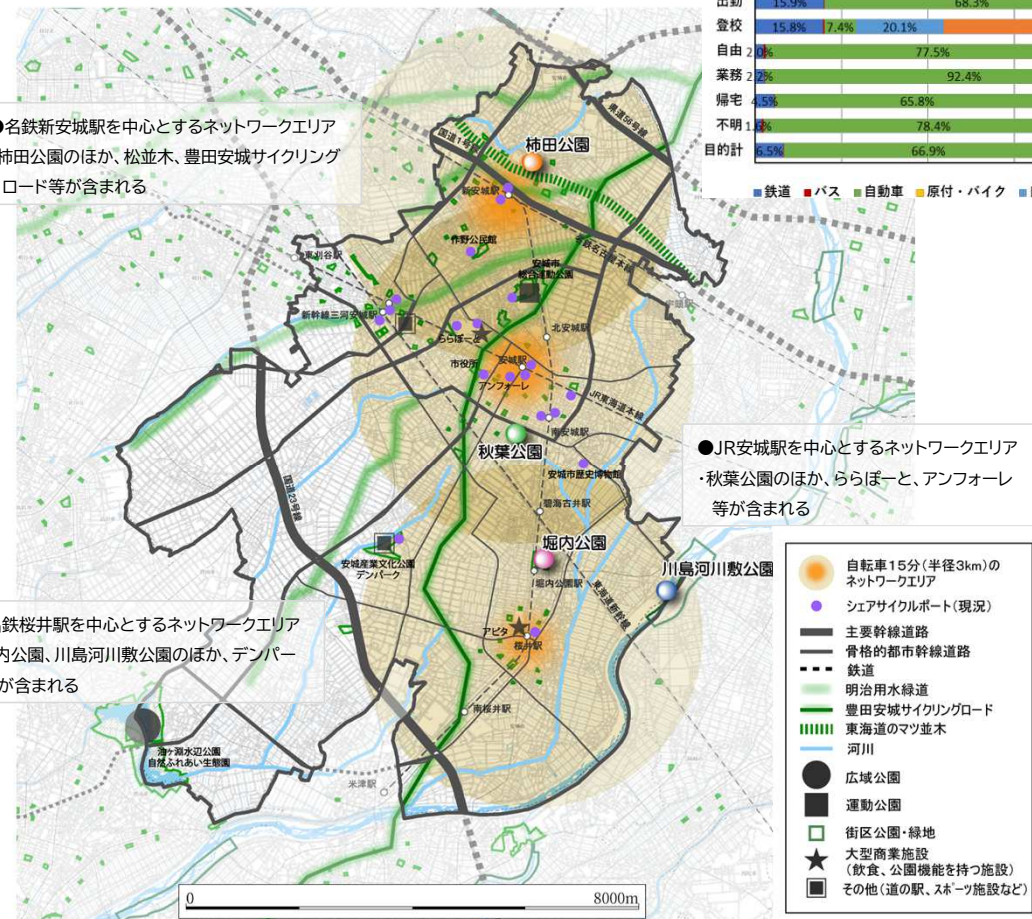


2. 移動動線(ネットワーク)の目指すところ

- ・ 安城市民の自動車利用が圧倒的に多い状況に加え、安城市ゼロカーボンシティ推進戦略による脱炭素な移動を推進するためにも、公共交通機関や自転車の利用を促進する
- ・ 地区公園にサイクルポートを設置することで、自転車を使ったエコな環境で、市内の駅から公園、公園から商業施設、公園から公共施設をめぐる手段ができ、市外の観光客等呼び込むきっかけになることで、市の魅力アップとリピーターの確保に繋げる
- ・ 柿田公園や秋葉公園、堀内公園は駅から近いため、鉄道とタイアップしたイベントを実施することで利用促進を図り、広域から人を呼び込む

● 名鉄新安城駅を中心とするネットワークエリア
・ 柿田公園のほか、松並木、豊田安城サイクリングロード等が含まれる

● 名鉄桜井駅を中心とするネットワークエリア
・ 堀内公園、川島河川敷公園のほか、デンパークが含まれる



柿田公園



秋葉公園



堀内公園



川島河川敷公園



現況

- 他市の地区公園のうち、明石公園以外はグラウンドとして利用されている公園が多く、安城市の地区公園と同じ条件で比較することは難しい。
- 明石公園の人口規模と公園来訪者の比率を比較した結果(下記の表)、来園者数は人口規模に比例していないことが分かった。公園にあるコンテンツが来訪者の比率に影響していると推測される。
- 他市の利用者の多い公園は、総合公園規模のものが多く、屋内施設、大屋根広場、カフェ等の飲食施設、デイキャンプ、BBQなど、安城市にない施設がある。

安城市と隣接する市の人口比較
(令和7年4月時点)

	総人口(人)	人口規模比較 (安城市を1)
安城市	187,649	1.0
岡崎市	381,638	2.0
豊田市	415,138	2.2
知立市	72,557	0.4
刈谷市	152,844	0.8
高浜市	48,966	0.3
碧南市	72,111	0.4
西尾市	169,284	0.9

※碧南市の人口規模は安城市の0.4倍であるが、碧南市にある明石公園は秋葉公園の1.6倍の来訪者がある

安城市地区公園と主要な6公園との比較

	来訪者	比率(秋葉公園を1)	市内来訪者割合	隣接市来訪者割合	市外(県内)来訪者割合
柿田公園	63,206	0.7	79%	15%	5%
秋葉公園	90,040	1.0	76%	20%	4%
堀内公園	88,039	1.0	53%	33%	13%
川島河川敷公園	7,025	0.1	59%	26%	5%
刈谷市交通児童遊園	131,972	1.5	29%	26%	38%
明石公園(碧南市)	142,360	1.6	31%	31%	34%
岡崎市東公園	340,775	3.8	53%	13%	24%
油が淵水辺公園(安城市)	99,057	1.1	22%	57%	18%
鞍ヶ池公園(豊田市)	377,180	4.2	64%	9%	20%
岡崎南公園	269,629	3.0	71%	9%	16%

【刈谷ハイウェイオアシス】



他 産直市場、銭湯など

【高岡公園】



【知立新池ドリームパーク】

(R6年度インクルーシブ遊具広場をリニューアル)



【刈谷市交通児童遊園】



【ミササガパーク】

(R6年度デイキャンプ場、カフェ等をP-PFIにてリニューアル)



【フローラルガーデンよさみ】



【三河安城駅前広場(予定)】

休憩スペース・広場

【アリーナ(新規予定)】



【安城産業文化公園デンパーク】



【明石公園】

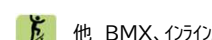


他 交通広場、ゴーカートなど

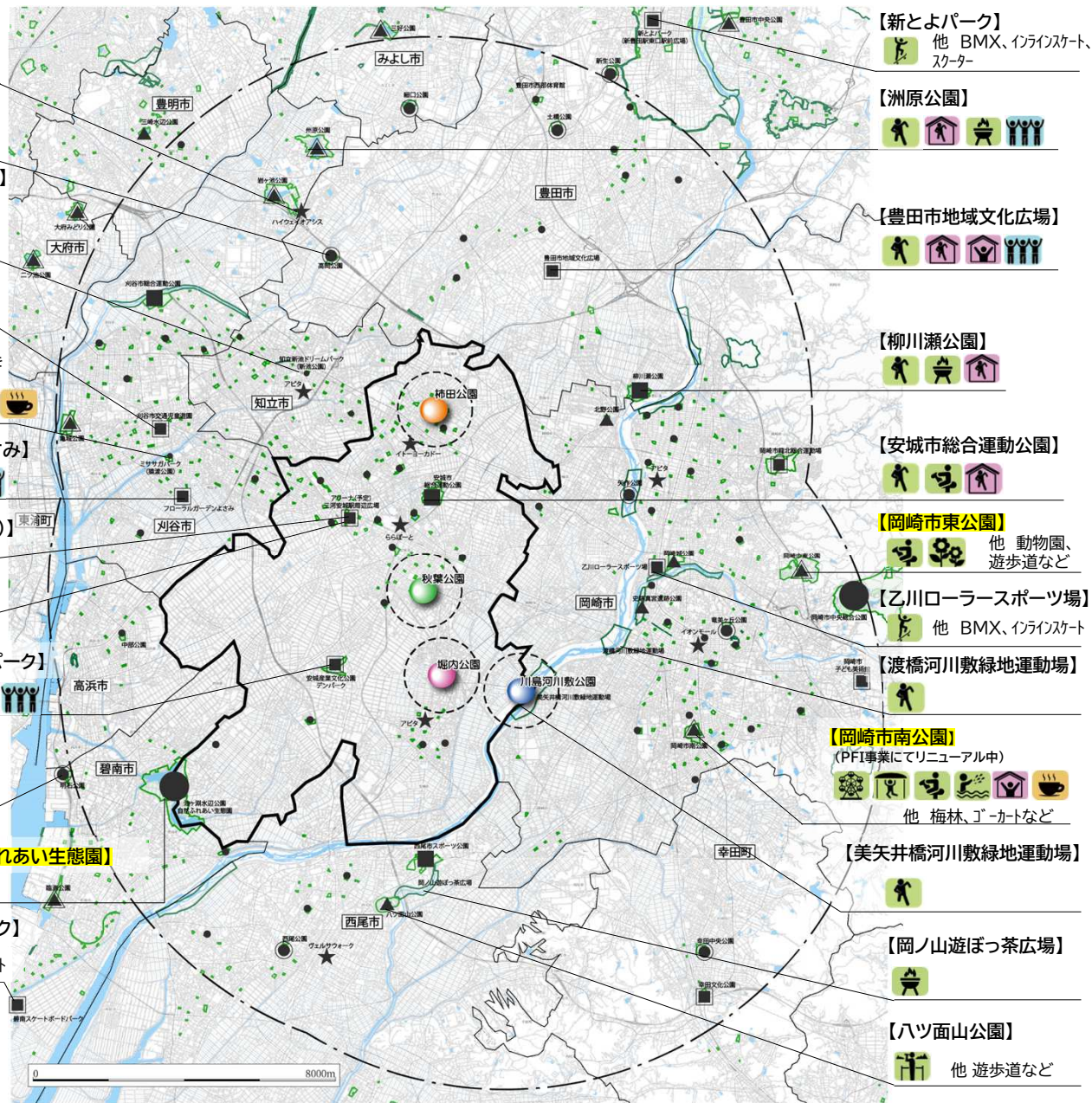
【油ヶ淵水辺公園・自然ふれあい生態園】



【碧南スケートボードパーク】



他 BMX、インラインスケート



【新とよパーク】

他 BMX、インラインスケート、スクーター

【洲原公園】



【豊田市地域文化広場】



【柳川瀬公園】



【安城市総合運動公園】



【岡崎市東公園】

他 動物園、遊歩道など

【乙川ローラースポーツ場】

他 BMX、インラインスケート

【渡橋河川敷緑地運動場】



【岡崎南公園】

(PFI事業にてリニューアル中)



他 梅林、ゴーカートなど

【美矢井橋河川敷緑地運動場】



【岡ノ山遊ぼっ茶広場】



【ハツ面山公園】

他 遊歩道など



刈谷市交通児童遊園（刈谷市）

本格的な遊具がリーズナブルに体験できる公園
(引用：雑誌「スゴイ！公園本 東海版」)



遊具概要

有料遊具：キッズコースター、グレートボセイドン、
ゴーカート、バターゴルフなど 計10種類

無料遊具：人工芝滑り台、水遊び場、ふわふわドームなど

碧南市明石公園（碧南市）

100円で全ての遊具に乗れちゃうみんなの遊び場
(引用：公式HP)



遊具概要

有料遊具：観覧車、おとぎ列車、ゴーカート、
メリーゴーランド、バターゴルフなど 計11種類

無料遊具：アスレチック遊具、複合遊具など

岡崎市南公園（岡崎市）

‘27年にリニューアルOPEN 家族が笑顔になれる公園
(引用：公式HP)



遊具概要

有料遊具：観覧車、電気ゴーカートなど 計7種類（予定）

無料遊具：親水広場、大屋根広場、屋内遊戯施設、
インクルーシブ遊具など（予定）

鞍ヶ池公園（豊田市）

‘21年5月にリニューアルOPEN 豊田市の未来型公園
(引用：雑誌「スゴイ！公園本 東海版」)



遊具概要

有料遊具：ボート、パークフィールド（snow peakキャンプ場）、フォレスト
アドベンチャー（アスレチック）、ホースパーク（エルミオレ乗馬）など

無料遊具：大屋根広場、屋内遊戯施設、動物園、植物園、
グレイパーク、英国庭園、動物愛護センター、ハイウェイアジスなど

岡崎東公園（岡崎市）

ファミリーでゆったり満喫 自然と文化の公園
(引用：公式HP)



遊具概要

有料遊具：なし

無料遊具：動物園、複合遊具、恐竜モニュメント、本多光太郎資料館、
旧本多忠次邸、花菖蒲園、動物愛護センターなど

油ヶ淵水辺公園（安城市・碧南市）

油ヶ淵の自然と歴史 未来へつなぐ水辺風景の創造
(引用：愛知県HP)

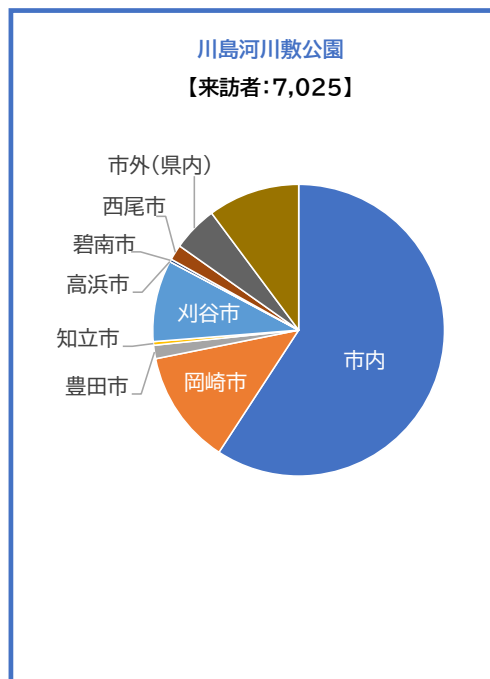
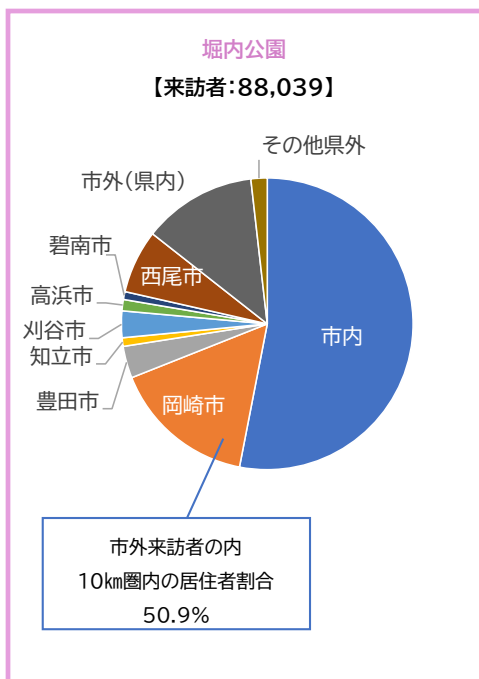
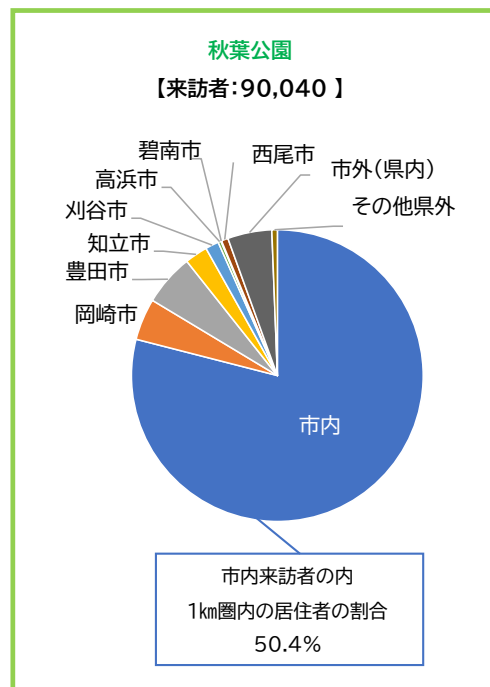
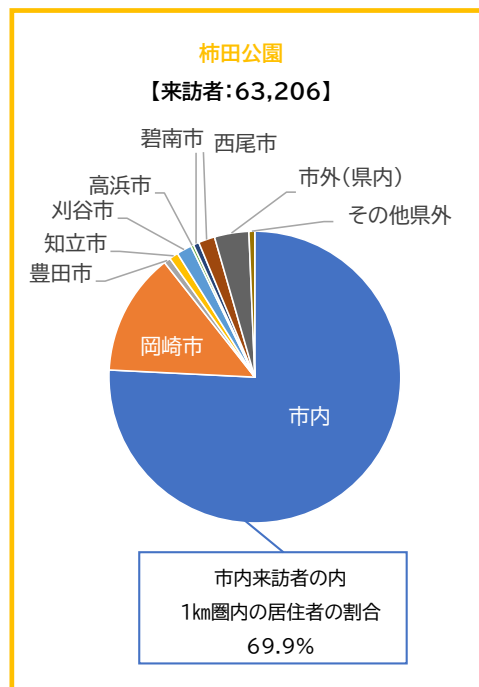


遊具概要

有料遊具：なし

無料遊具：大型複合遊具、自然ふれあい生態園、水遊び施設、
水生花園、ハス池、ドングリの丘、大型休憩所、
田んぼビオトープ、花しょうぶ園など

安城市内の地区公園の2023年度来訪者データ(KLAデータより)

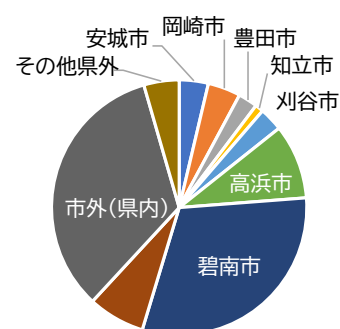


周辺市の代表的な公園の2023年度来訪者データ(KLAデータより)

遊園地施設が豊富な公園

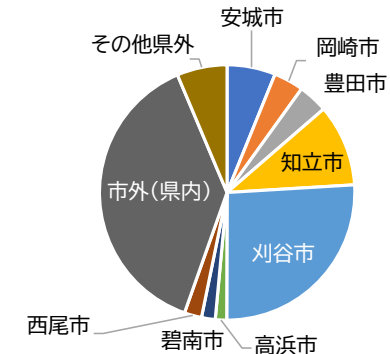
明石公園(碧南市)

【来訪者:142,360】



刈谷市交通児童遊園(刈谷市)

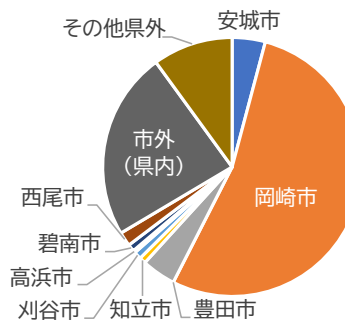
【来訪者:131,972】



動物園要素がある公園

岡崎市東公園(岡崎市)

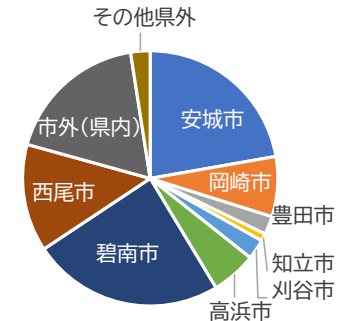
【来訪者:340,775】



県営公園

油ヶ淵水辺公園 自然ふれあい生態園(安城市)

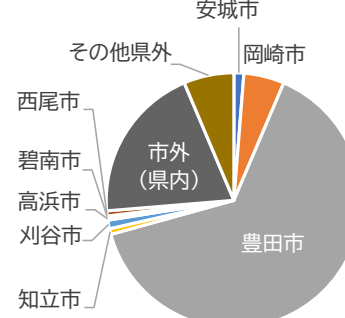
【来訪者:99,057】



地元利用者が多い公園

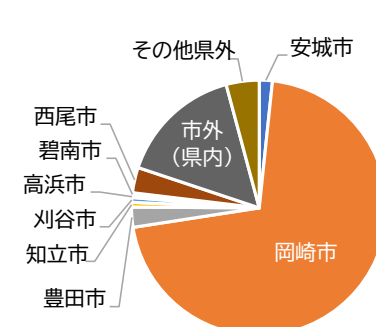
鞍ヶ池公園(豊田市)

【来訪者:377,180】



岡崎南公園(岡崎市)

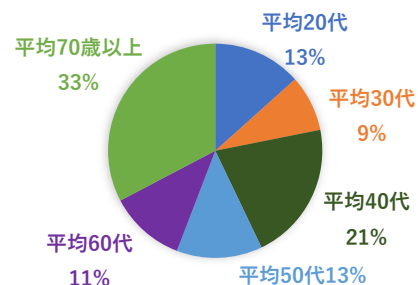
【来訪者:269,629】



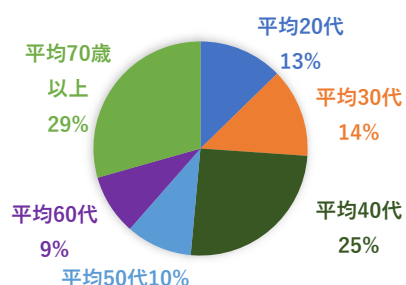
安城市内の地区公園(2023年度 来園者の年齢層について) KLAデータより

柿田公園

平日の公園来訪者

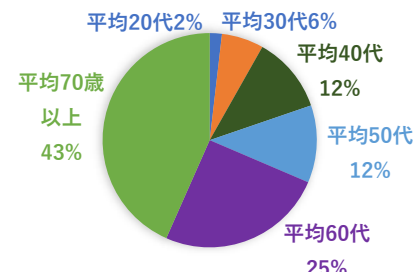


休日の公園来訪者

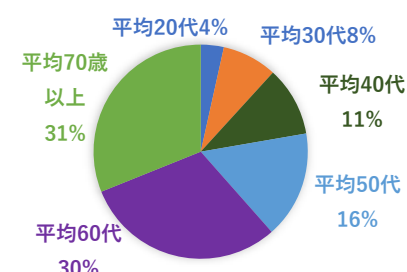


秋葉公園

平日の公園来訪者

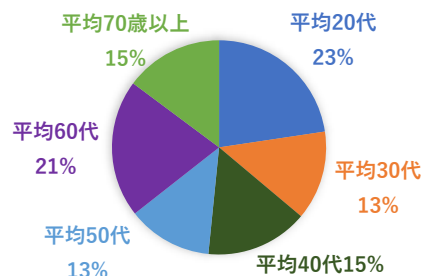


休日の公園来訪者

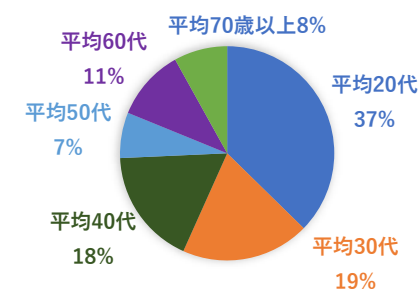


堀内公園

平日の公園来訪者

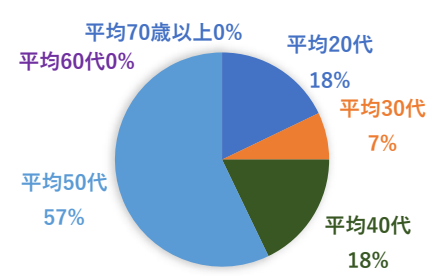


休日の公園来訪者

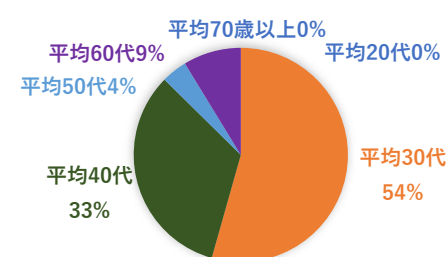


川島河川敷公園

平日の公園来訪者



休日の公園来訪者



(※川島河川敷公園は来訪者のサンプル数が少ない上に、年齢層に偏りが生じている)

安城市の地区公園の目指すところ

- 柿田公園は、市内の来訪者の内、約7割が1km圏内の居住者であり、日常使いされている。平日及び休日の利用者年齢層の割合は、比較的類似している。

→地域に根付いた公園づくりを継続する

- 堀内公園は、来訪者のうち約5割が市外の居住者であり、広域からも利用されている。平日の利用者年齢層はバランスが取れているが、休日はファミリー世代の利用が多い。

→市外の居住者も来訪するポテンシャルを活かし、広域からの来園を一層強化する

- 複合遊具や遊園地施設、動物園などのコンテンツは人気ではあるが、使い方が一義的であることから、安城市では、多義的な使い方ができるコンテンツを導入し、他市の公園と差別化を図っていく。

- 秋葉公園は、市内の来訪者の内、約5割が1km圏内の居住者であり、日常使いされている。来訪者の利用者年齢層は、60代以上が多い。

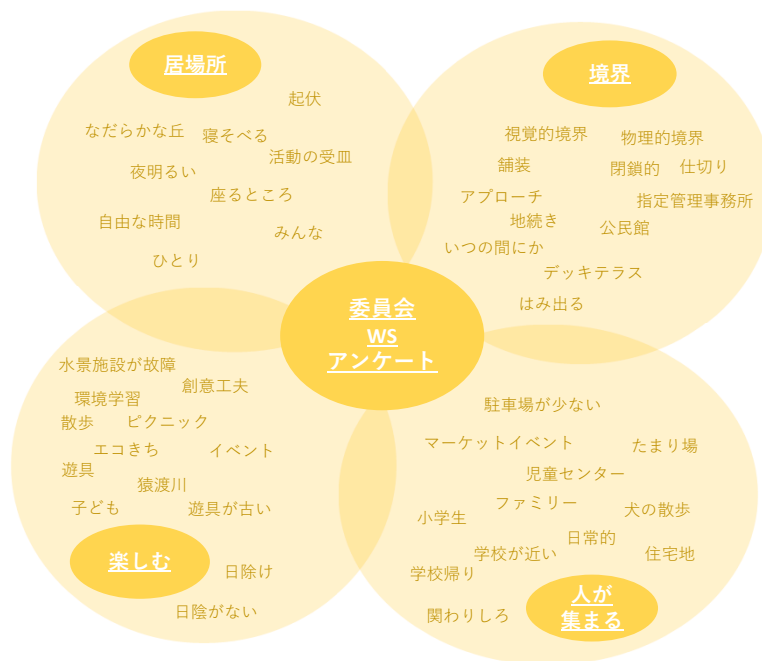
→若い世代も利用する公園づくりを目指す

- 川島河川敷公園の来訪者数は、他の公園と比べて極端に少ない。

→利用しやすさを向上を図り、来訪者を増やす

柿田公園

委員会、WS、アンケートから出た意見のキーワード



目指す姿



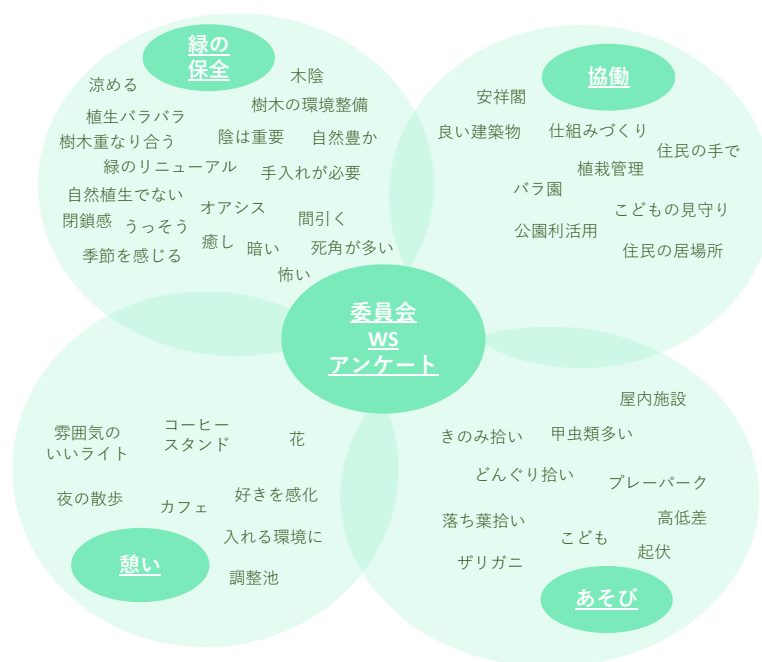
公園・まち・施設の境界があいまいで気づいたらいつも
"ふらっと"
立ち寄れる公園



自然とみんなの顔や心が
"にっこり"
笑顔に包まれる公園

秋葉公園

委員会、WS、アンケートから出た意見のキーワード



目指す姿



緑を100年後まで残せるように
市民と協働して
"こつこつ"
歩んでいく公園



緑に囲まれ、自然体で
"のびのび"
過ごせる公園

4-2 地区公園再整備の目指す姿

堀内公園

委員会、WS、アンケートから出た意見のキーワード



目指す姿



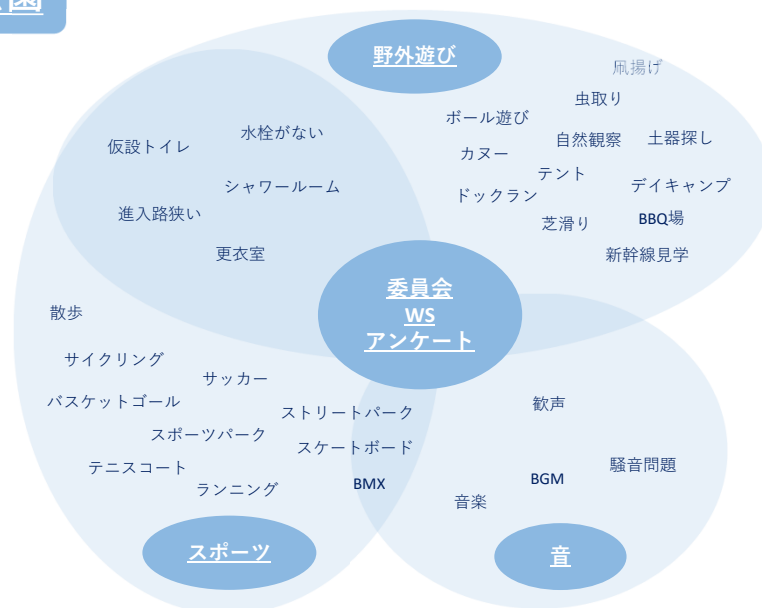
こどもも若者も大人も
できることが無限大で
“ときめき”
が止まらない公園



見えた瞬間から
“わくわく”
する気持ちが
あふれ出る公園

川島河川敷公園

委員会、WS、アンケートから出た意見のキーワード



目指す姿



青空の下で
“わいわい”
エネルギーチャージ
ができる公園



開放的な空間で思いっきり
“ノリノリ”
盛り上がる公園

【 地区公園全体として目指すところ 】

1. 関連する計画における都市公園と緑の整備の視点

第9次安城市総合計画	・「 こども 」を核としたまちづくり
安城市緑の基本計画	・豊かで多彩な緑を次世代に引き継ぎ 新たな緑 をつくり育てていく
第三次安城市都市計画マスタープラン	・市民とともにづくり・つかう 協創のまちづくり
第2次安城市環境基本計画	・環境負荷の少ない、 人と自然が共生 しているまち
安城市ゼロカーボンシティ推進戦略	・安全・安心で誰もが住みたくなる魅力あふれるまち（ ゼロカーボンシティ ）
安城市こども計画	・全てのこども・若者が、権利の擁護が図られ、将来にわたって幸せな状態で生活を送ることができる「 こどもまんなか 」なまち

2. 安城市の移動動線(ネットワーク)

- 公共交通機関や自転車の利用を促進
- 自転車を使ったエコな環境で観光客に公園や市内施設を巡ってもらう
- 鉄道とタイアップしたイベントにより広域から人を呼び込む

【 各公園で目指す姿 】

1. 安城市の地区公園と周辺市の公園を比較した視点

- 柿田公園は地域に根付いた公園づくりを継続する
- 秋葉公園は若い世代も利用する公園づくりを目指す
- 堀内公園は広域からの来園を一層強化する
- 川島河川敷公園は利用しやすさを高め、来訪者を増やす
- 多義的な使い方ができるコンテンツを導入し、他市の公園と差別化を図っていく

2. 各公園の将来像の方向性

- 4つの地区公園の基本構想を同時に策定することから、それぞれの公園に特色を持たせて、その日の気分に合わせて行きたい公園を選べるようにする
- 各公園の将来像は、抽象的な表現を用いることとし、多義的な解釈が可能となるようにする

堀内公園

こどもも若者も大人もできることが無限大で“ときめき”が止まらない公園
見えた瞬間から“わくわく”する気持ちがあふれ出る公園

- 今日は趣味のバンド活動をして、そのあと打ち上げでメンバーとビールを飲むのが楽しみだな。
- 雨が降ってるから、堀内公園に行こうか。雨の日でも思いっきり身体を動かせるのは助かるね。
- 堀内公園のイチョウですごくエモい写真がとれるらしいから撮りに行こうよ♪さっきインスタで流れてきたんだよ！
- メリーゴーランドのライトアップが幻想的できれいらしいから、デートにいかない？

柿田公園

公園・まち・施設の境界があいまいで気づいたらいつも“ふらっと”立ち寄れる公園
自然とみんなの顔や心が“にっこり”笑顔に包まれる公園

- 新城駅から歩いていたら、気づいたら公園のなかでいてびっくり。緑が多くて気持ちいいね。
- 公民館講座も終わったし、隣の公園でマルシェをやっているからちょっと寄って行かない？
- 今日はハンモックに揺られながら木陰で本を読もうかな。あとで、カフェにも寄って帰ろうかな。
- 今日も暑すぎ！そろそろ水遊びを切り上げて、公民館に休みにいこうぜ！

川島河川敷公園

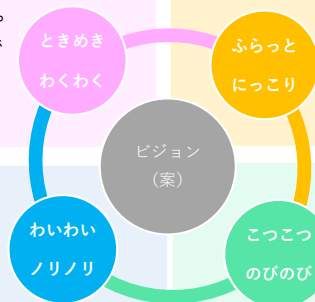
青空の下で“わいわい”エネルギーチャージができる公園
開放的な空間で思いっきり“ノリノリ”盛り上がる公園

- 絶好のデイキャンプ日和！まちなかを離れて、広々した場所でBBQを楽しむぞ！
- お気に入りのBGMをかけて、気分を上げて、かっこよくトリックを決めるぞ！
- 愛犬があんなに自由に走っている姿を初めてみたよ。気持ちよさそう～！
- さあ、網を持って今日は生き物観察に出かけよう！まちなかではみつけられない生き物に出会えるかな。

秋葉公園

緑を100年後まで残せるように市民と協働して“こつこつ”歩んでいく公園
緑に囲まれ、自然体で“のびのび”過ごせる公園

- 穴掘り、火起こし、木登り・・・どれをやっても怒られない、僕は自由だー！
- 好きなことをするために秋葉にいく。そしてみんなと一緒に好きを楽しむ。
- 明るい緑や季節の花に囲まれた公園で今日も体を動かすぞ！
- 木のなかでリフレッシュしよう。風で葉が揺れる音が心地よいんだよね～。



6 各公園の将来の目指す姿の詳細まとめ

ふらっと

整備イメージ①

【ハード】歩道を公園内に取り込み、公園とまちの視覚的な境界をなくす

【ソフト】新安城駅から公園までの歩道を活用したイベントを開催する

目指す効果

- ✓ まちから公園に、何気なく足を踏み入れる環境にすることでまちと公園が一体化する
- ✓ 新安城駅から公園まで連続したイベントを開催することで、鉄道利用者を公園に誘導する

整備イメージ②

【ハード】エコきちと公民館を公園に開けた形にする

【ソフト】公民館の図書を利用し、青空図書館として公園内で本を読めるようにする

目指す効果

- ✓ 施設を公園と一体化した構造にすることで、相互間利用がしやすくなり、施設利用者の公園利用を増やす

にっこり

整備イメージ①

【ハード】ごろごろしたり、木陰で本が読める空間をつくる

【ソフト】ハンモック等の休憩できるアウトドア用品を貸し出しする

目指す効果

- ✓ 1人もしくは気の合う仲間と気軽に集まり、自由な時間を過ごすことができる
- ✓ アウトドア用品を貸出することにより、いつでも、手ぶらで好きな場所にくつろぐことができる

整備イメージ②

【ハード】水遊びで夏も涼しく遊べる空間をつくる

目指す効果

- ✓ 水遊びにより、夏の暑い日にも涼しく遊ぶことができる
- ✓ 散歩や自転車の休憩スポットとして立ち寄るきっかけになる

整備イメージ③

【ハード】パンやコーヒーを片手にゆったり過ごせる場所をつくる

【ソフト】こどもが主役のマルシェを開催する

目指す効果

- ✓ カフェなどお気に入りの場所ができることで、日常的に使う場所になる
- ✓ こどもマルシェ等を開催することで、こどもが活躍する場を提供するとともに、家族や地域との対話を増やす

柿田公園

こつつ

整備イメージ①

【ハード】樹木の間伐による適正な管理

【ソフト】調整池の法面等を活用して、一面に花が広がる風景をつくる

目指す効果

- ✓ 適正な樹木管理、間伐を行うことで、明るい緑で癒される場所になる
- ✓ 調整池内の遊歩道等を歩きながら一面に咲いた花を五感で楽しみつつ、季節も感じてもらう

整備イメージ②

【ソフト】市民と協働した植栽管理活動の支援

【ソフト】どんぐり拾い大会や園名板づくりを通してこどもたちに樹木と親んでもらう

目指す効果

- ✓ 市民と協働して植樹や植栽の管理を行うことで、愛着をもってもらい、100年後まで緑を残す

整備イメージ③

【ソフト】和のマルシェwith安祥閣(安祥閣と連携したイベントの開催)

目指す効果

- ✓ 和菓子や和食等を提供する公園マルシェと、安祥閣の和空間で味わってもらふようなイベントを開催することで相互利用の向上を図る

のびのび

整備イメージ①

【ハード】「やたらだめ」ができるプレーパークの整備

【ソフト】公園の禁止事項で遊べる新たなルールづくり

目指す効果

- ✓ こどもたちが自由に遊べる環境をつくることで、ストレスから解放され、心身の健康に繋げる
- ✓ 課題をかかえる子どもや親の気分転換の場所になる

整備イメージ②

【ハード】樹木のぬくもりに触れられる施設をつくる

【ソフト】間伐した樹木を用いた木育イベント

目指す効果

- ✓ 木の質感に触れることで、木が持つ温かな雰囲気を経験できる場所になる
- ✓ 間伐材を活用することで、環境保全に役立てる

整備イメージ③

【ハード】夜も森の中を快適に散歩できる環境をつくる

【ソフト】幻想的な明かりのイベント

目指す効果

- ✓ 夜間照明やライトアップにより、非日常的な環境を楽しむことができる
- ✓ 猛暑を避けた涼しい夜に散歩できることで、夏場の健康増進につなげる
- ✓ 夜間も公園が明るいことで、公園利用の安心につなげる

秋葉公園

ときめき

整備イメージ①

【ハード】様々な規模のステージをつくる

【ソフト】ライブパフォーマンスの開催

目指す効果

- ✓ 多様な体験ができ、自分のやりたいことをみつけることができる
- ✓ 夢をかなえるためのファーストステップの場所であり、将来的には聖地のような場所になる
- ✓ 新たな仲間をみつける社交場になる

整備イメージ②

【ハード】全天候対応型施設の整備

【ソフト】こども向けのワークショップの開催

目指す効果

- ✓ こどもたちが天候に左右されず、目一杯からだを動かして遊ぶことができる
- ✓ 大人は、快適な環境でゆっくり過ごすことができる

整備イメージ③

【ハード】魅力的な夜を光で演出する

【ソフト】ナイトマルシェやナイトシアターの開催

目指す効果

- ✓ 夜の公園を活用することにより、昼間にはなかった新たな魅力を創出する
- ✓ 仕事終わりの大人も気軽に楽しむことができる
- ✓ ナイトタイムエコノミーを推進することで、公園の賑わいからまちの賑わいに繋げる

わくわく

整備イメージ①

【ハード】安城らしいテーマで統一した整備

【ソフト】モニュメントやイチョウ並木など公園の入口で出迎えてくれるシンボルの整備

目指す効果

- ✓ 見た目のインパクトや写真映える公園のシンボルをつくることで、公園のイメージアップを図る
- ✓ SNS等による口コミの拡散により、遠方からの来園者が増やす

整備イメージ②

【ハード】カフェ等の飲食店の整備

目指す効果

- ✓ 民間事業者のアイデアやノウハウにより、公園の魅力が高まり、滞在時間が延びる
- ✓ おいしい料理を提供する飲食店やインスタ映えるカフェができることで他市からの来園者が増加する
- ✓ 公園でお金を使いながら、公園を楽しんでもらう

整備イメージ③

【ソフト】目を引くド派手なイベントの開催

目指す効果

- ✓ 車や電車で公園の横を通りすぎる時に目を引くようなイベントを開催することで、立ち寄るきっかけになる

堀内公園

わいわい

整備イメージ①

【ハード】BBQ場やドックランをつくる

【ソフト】ドックイベントやアウトドアイベントの開催

目指す効果

- ✓ 自然を感じながらそれぞれが好きなように過ごすことで、癒しと安らぎを得ることができる

整備イメージ②

【ハード】河川敷まで近づきやすくする

【ソフト】昆虫採集会や自然観察会を開催する

目指す効果

- ✓ まちなかでは触れることができない生態系と接することで、こどもたちの好奇心を掻き立てる
- ✓ 安城市の生態系に興味・関心を持つきっかけとなることで、環境保全に寄与する

ノリノリ

整備イメージ①

【ハード】バラエティスポーツパークをつくる

【ソフト】歓声やBGMで盛り上がるスポーツイベントや大会を開催する

目指す効果

- ✓ 街中で実施することが難しいスポーツを思いっきりプレイすることができる
- ✓ 競技人口が少ないマイナースポーツが普及するきっかけの場所になる

インフラ整備

【ハード】快適に公園を利用するための衛生施設の整備や乗り入れ口の改良

目指す効果

- ✓ きれいなトイレなどの衛生設備を完備することで、利便性が向上する
- ✓ 進入路を入りやすいように整備することで、車による利便性が向上する